

予算編成方針

【上下水道局の将来構想の実現】

- 「上下水道ビジョン（2020～2029）」の基本理念である「次世代へつなぐ持続可能な水循環社会の創造」の実現
 - ・5つの大綱の基本目標「安全・安心」「安定・強靱」「持続」「快適」「循環」の達成に向け、各種事業を一体的に推進
 - ・気候変動に対応した「水道水の安全性確保」「浸水被害軽減」「施設の耐震性確保」「緊急時の体制強化」に集中的に取り組む。
 - ・各種計画に基づき、施設の適切な維持管理・更新・耐震化、旧豊田浄水場跡地や下水道管理センター、遊休地等の資産の最適化を推進

【タイムパフォーマンス・コストパフォーマンスを踏まえ、環境に配慮した開物成務経営】

- DXによる徹底したデジタル化・事務の効率化によるサービス向上及び事業の円滑な実施
- 2050カーボンニュートラルを目標に、再生可能エネルギーの活用や資源の有効活用に取り組み、サーキュラーエコノミー（循環経済）及び脱炭素社会の実現に向けたGXの推進を図る。
- 広域化・共同化による施設等の更新やダウンサイジング、官民連携（PPP）を推進し、経営の効率化を図る。

【SDGsの実現と2030年～2050年に向けたバックカスティング思考による基盤づくり】

- SDGsの達成に向け、次の100年を見据えた長期的視点によるバックカスティング思考のもと、「誰一人取り残されない」持続可能な経営基盤づくりを推進

上下水道を取り巻く状況

- 1 人口減少による料金収入の減少
- 2 老朽化施設の増加による更新需要の増大
- 3 気候変動を踏まえた脱炭素社会の推進
- 4 自然災害の頻発化・大型化
- 5 国の新しい動き
 - ・水道行政の国土交通省移管
 - ・上下水道の広域化、共同化
 - ・ウォーターPPP
(管理・更新一体マネジメント方式新設)

取り組むべき課題

上下水道事業共通

- カーボンニュートラル実現に向けた施策推進（省エネ、再エネ）
- 人口減少を踏まえた事業経営の効率化（5人、DX）
- 自然災害への対応（予防保全、迅速な危機管理）
- ファンティマゼジメントの推進（旧豊田浄水場、下水道管理センター、局北棟）
- PPP（官民連携）の推進（DB、包括業務委託の推進）
- 広域化・共同化の推進（水質検査、資材調達、農集排の流域接続）
- 新技術の活用（人工衛星、AI、IoT、ドローン、3Dモデル）

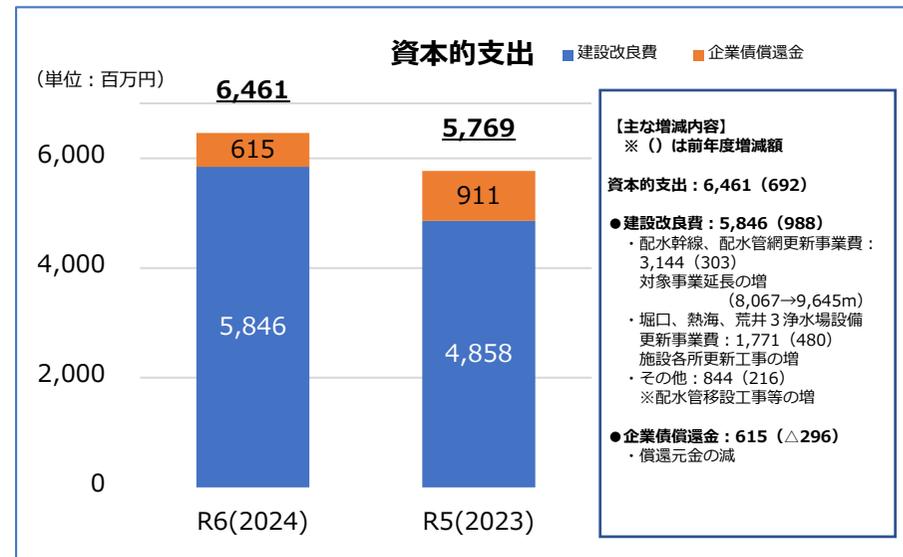
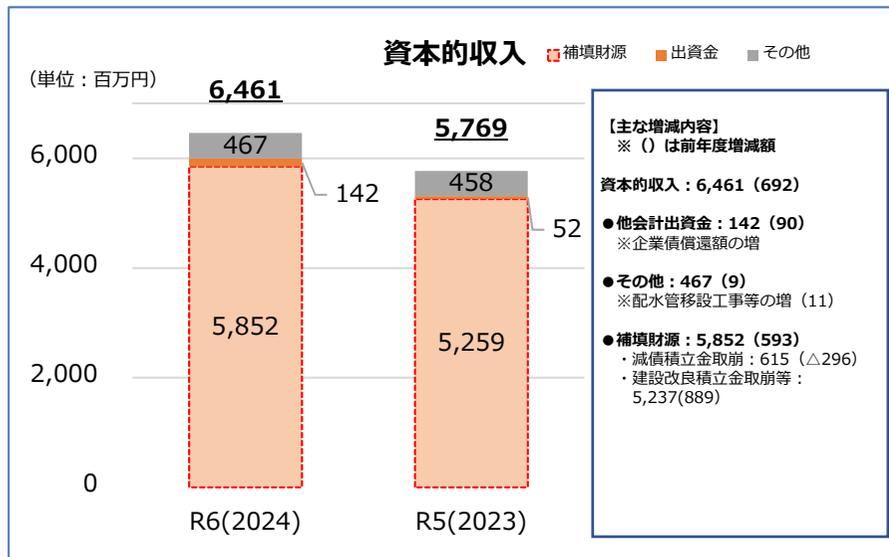
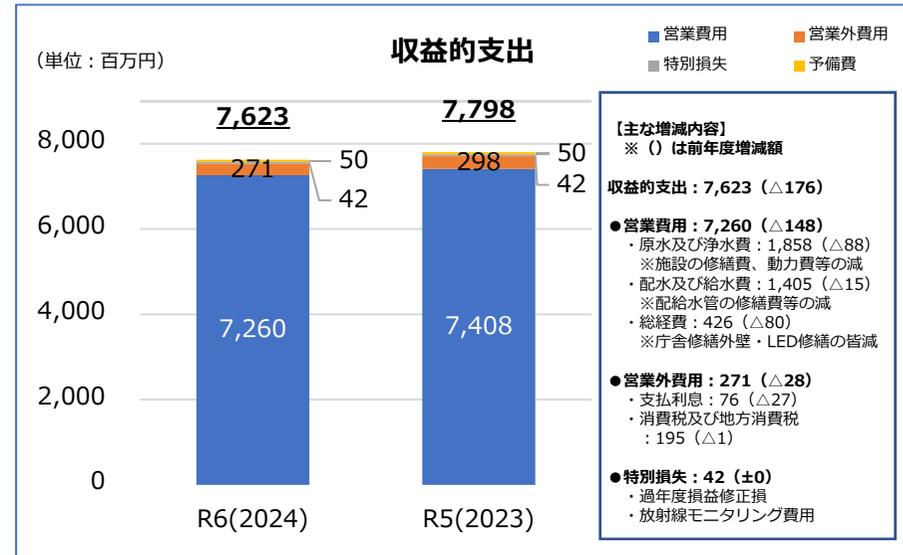
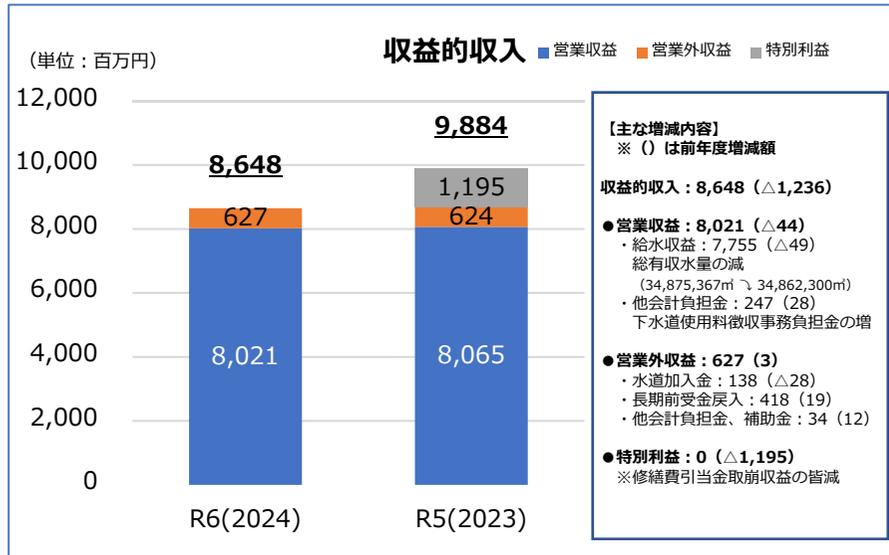
水道事業

- 漏水対策の促進による有収率向上
- 給水収益外の収益確保
- 将来を見据えた施設の更新
- 施設の耐震化・強靱化
- 窓口サービス（ワライン化含む）の充実
- 検査体制の充実

下水道事業

- R8(2026)末:下水道概成（汚水処理人口普及率95%）
- 人口減少時代の汚水面整備のあり方検討
- 湖南特定環境保全公共下水道のあり方検討
- 農業集落排水施設の流域下水道への接続
- 老朽化施設の更新
- 流域治水の更なる推進
- ウォーターPPPの検討

令和6（2024）年度 水道事業当初予算について



令和6（2024）年度 下水道事業当初予算について

